

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第2回高松市伝統的ものづくり振興審議会
開催日時	令和元年8月2日（金）9時00分～12時00分
開催場所	高松市役所 11階 113会議室
議 題	(1) 平成30年度高松市伝統的ものづくり振興事業補助金 成果発表 (2) 令和2年度高松市伝統的ものづくり振興事業（案） (3) その他 (4) 令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業補助金（追加募集）審査
公開の区分	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	高松市情報公開条例（第7条）に該当
出席委員	5 人 本多委員、谷委員、穴吹委員、井藤委員、英委員
傍聴者	2 人 （定員 5 人）
担当課および連絡先	産業振興課創造産業係 839-2411

審議経過および審議結果

（事務局）

高松市伝統的ものづくり振興審議会規則第3条第2項により、会議成立の報告。

情報公開条例第7条に該当するため、議題（4）高松市伝統的ものづくり振興事業補助金審査について、非公開とすることを決定。

～採択者より議題（1）平成30年度高松市伝統的ものづくり振興事業補助金成果発表について説明～

（委員）

事業を実施しての手ごたえを教えて欲しい。

（採択者）

商談時のプレゼン資料やお客さまへ説明するきっかけとなり、ポップアップストアの出展など県外への出展の機会が増えた。瀬戸内国際芸術祭の行われる島々や宿泊先への配布が出来ていないので、今後増刷して配布したい。

（委員）

展示会へ出展した時の反応はどうだったか。また、今後どのような取り組みをしていくのか。

（採択者）

女性の方からの質問が多く、交渉する機会も多かったが、商品のパッケージや商品説明などの販売方法を高める必要があると感じた。

審議経過および審議結果

今年度はパッケージを新たに作成したので、再度、展示会へ出展する予定である。

(委員)

補助金の内容や申請方法等について何かお考えや御意見等あれば。

(採択者)

今まで温めていたけどなかなか踏み切れなかったことが、非常にやりやすかった。この補助金を知らない事業者も多くいるようなので、広く認知されれば良いと思う。

(委員)

今回研修へ参加されて、得られたことを教えて欲しい。

(採択者)

従業員にとって、技術を学べるとともに、全国から集まる事業者と様々な情報交換をしたり悩みを相談したり出来る場だったので、大変有意義だったと思う。また、後継者の育成にも繋がった。

～事務局より議題（２）令和２年度高松市伝統的ものづくり振興事業（案）について説明～

(委員)

展示会等見本市出展等補助では香川漆器と庵治石に対して補助をしているが、盆栽に対しては出されていないのか。また、事業内容やどのような効果があったか等の報告を検討して欲しい。

(事務局)

盆栽に関しては農林水産課が別予算で対応しており、高松盆栽の郷拠点施設の整備等を香川県やJAと連携して行っている。盆栽関係も含めた資料づくりをしたい。

(委員)

伝統的ものづくり振興事業補助について、年度当初の募集時は応募件数が少なく、追加募集時に申請件数が多くなっている。来年度からはどのようにしていく方針か。

(事務局)

募集時期を見直す必要があると考えている。また、過去の採択事業を募集要項に入れるようにしているが、今後も事例の情報提供等をしながら、申請者が応募しやすいような環境を整えていきたいと考えている。

(委員)

学校巡回教室について、対象を小中学生としているが、大学生やもう少し大人の方や移住してきた若い方等の一般の方を対象として、事業承継に繋がるような事業とするのもいいかと思う。

～議題（３）その他について～

(委員)

高松にクルーズ船の入港数が増えているが、伝統工芸に携わる方々に

そのような機会があるという事を認知してもらい、どの様に販売するか等の後押しできる体制を構築し、誘致だけでなく消費に繋げることが重要であると思う。

(事務局)

県とも相談しながらどのような対応が出来るのか考えていきたい。

議題（４）高松市伝統的ものづくり振興事業補助金（追加募集）
審査を非公開にて実施。